

1 第1回検討委員会から

【市民科再構築にむけての取り組み】

（1）理念（市民科の役割・意義）

- ・ 持続可能な内容、体制づくりへ向け、20年間の市民科の振り返りとして、児童・生徒、教員への調査を行う。
- ・ 市民科の資質・能力である「市民として社会を形成する力」について、改めて検討する。（特別の教科道徳、特別活動、総合的な学習との関連など）。

（2）市民科の充実

- ・ 学習プロセス（5つのステップ）を再構築する。
- ・ 現在、一貫プラン内で進めている探究的な学習の在り方について検討し、その在り方を示す。
- ・ 授業改善の推進（価値の教え込み、画一的なトレーニングからの脱却など）。

（3）学習内容について

- ・ カリキュラムオーバーロードの改善（体験学習の整理、市民科学習や一貫プランなどの指導時数の整理など）
- ・ 道徳、特別活動、総合的な学習の教材研究を生かせる授業。
- ・ 独自教材（教科書、指導書など）の扱いの検討。

（4）推進体制について

- ・ 教委内の推進体制の充実（専門部署、研究学校の指定）。
- ・ 人材育成に向けた体制づくりの充実（研修機会、研修内容の充実）。
- ・ 家庭・地域との一層の連携強化（家庭や地域からの声の反映）。
- ・ 固有教員の充実と活用。

2 調査研究会（第4回から第7回の協議内容）

【児童・生徒、教員への調査】

① 児童・生徒調査

市民科の授業による効果、達成度や実感を把握する。
対象：各学校種の最高学年（6年生または9年生）
設問：全10問（4件法および記述式）

② 教員

市民科の実施に伴う成果と課題とともに、今後どのような改善や取組が必要か把握する。
対象：管理職（全員） 教員（市民科を指導したことがある教員）※職層、区歴、教員歴を確認
設問：全25問（4件法、選択式、記述式）

→詳細は別紙

○ 推進体制について

【教委内の推進体制の充実】

- ① 研究学校の指定、市民科調査研究会の実施、指導主事による学校訪問
- ② 教育施策推進担当の組織強化（人員等含む）
- ③ 探究的な学習の推進に向けた学校支援（アプリ等の導入）
- ④ 事例集の作成、資料共有の場（フォルダ）の設定

【人材育成に向けた体制づくりの充実】

- ① 4月第1週の期間に校内研修期間を設定（講師：管理職、資料：教委作成）
- ② 市民科悉皆研修をGW以降に実施（参集及びオンデマンド配信）
- ③ 10月～11月の期間に教員向け市民科授業公開（前期、後期1本ずつ）
- ④ 市民科推進教師向け研修を学期に1回実施（教務主任会との連携含む）
- ⑤ 教育会市民科部会との連携

【家庭・地域との一層の連携強化】

- ① 市民科授業地区公開講座の充実
…校長先生からの市民科についての講話
…児童・生徒会活動が中心となった取組やコミュニティスクールデイを活用した地域との連携等、実施方法・内容を工夫
- ② 市民科の発信（学校だより・市民科だよりの発行やインスタ、フェイスブック等）
- ③ 関係部署との連携（学校地域コーディネーターとの連携・共有、CATVの活用）

【固有教員の充実と活用】

- ① 固有教員研修の充実（区の教育施策の推進）
- ② 市民科調査研究会、区教委主催の研修等への参加（授業公開、事例報告等）
- ③ 統括副校長等による学校訪問（市民科授業地区公開講座、市民科授業見学）

【市民科の理念・目標の改訂、資質・能力の整理】

市民科で示されている資質と能力と学習指導要領（特別の教科道徳、特別活動、総合的な学習）に示されている資質・能力を整理し、理念、目標、内容等を改訂していく。

① 理念や目標の改訂の方向性

…市民科の理念・目標に、現在市民科で「資質」として示されている内容を包含し、市民として社会を形成していくための理念・目標として再構築する。

② 資質・能力の整理の方向性

…市民科の理念・目標の達成に向けて、市民科学習および一貫プラン：探究的な学習（名称については今後検討）の資質・能力について、学習指導要領との整合性を図っていく。